

平成 29 年度

ネバーランドデイサービスセンター事業計画書

<事業の種類> 介護保険法による通所介護事業
介護保険法による介護予防通所介護事業（合計定員 40 名）

<運営方針>

在宅の要支援者・要介護者に対して、生活機能の維持・向上を積極的に図る。また要支援・要介護状態の予防及び重症化の予防・軽減により、利用者の自己実現の達成を支援する。

そして社会的孤独感の解消及び心身機能の維持、介護者の負担軽減を図るように努める。

<事業計画>

利用者の個別ニーズに対応した処遇を行うことにより、自立に向けた支援を行う。

- ① 入浴 — 在宅において入浴が困難な方やご家族の要望に合わせて実施し、満足度の向上を図る。
- ② 排泄 — 利用時において、利用者の個人の状態に合わせた適切な介助を行う。
- ③ 食事 — 個人の能力に合わせ介護食器等を活用し食べやすい様に工夫を行う。また、必要に応じて食事介助、見守りを行う。
- ④ リハビリ — 利用者の個別性、在宅生活に配慮しつつ、個別に立てられた生活機能の維持向上・介護予防を図れるプログラムを継続して行う。
- ⑤ レクリエーション — 季節を感じられるプログラムを企画・検討する。外出行事や外部ボランティアを招くことによりデイサービス利用の動機付けを行い、継続した通所介護の利用に繋げる。

<日課>

時 間	項 目	内 容
8 : 3 0	迎えバス出発	
9 : 3 0	健康チェック	到着後手洗い、うがい、体温・脈拍・血圧の測定
1 0 : 0 0	入 浴	普通浴・椅子浴
	脳力トレーニング	計算問題・間違い探し・ことわざ等
	リハビリ	健康体操・筋力向上（維持）運動を行い、筋力低下の予防運動を行う
1 1 : 4 0	嚥下体操	食前に嚥下体操を行うことにより、嚥下機能の維持・向上を図る
1 1 : 5 5	新聞読み	地域の新聞の 1 面など、利用者が関心のある記事を紹介する
1 2 : 0 0	昼 食	五感を刺激する食事や季節感のある食事の提供
1 3 : 0 0	レクリエーション	集団ゲーム・歌・体操・季節行事・書道等
1 4 : 0 0	機能訓練	①歩行練習・立位訓練の実施
		②作品制作の実施
1 5 : 0 0	ティータイム	コーヒー、紅茶等の提供、他の利用者や職員との団欒
1 6 : 0 0	帰りの準備	利用者の帰り支度の手伝い、連絡事項の伝達
1 6 : 2 0	健康体操	転倒予防の為の歌体操
1 6 : 3 5	送りバス出発	

<年間行事>

4月	お花見ドライブ	10月	運動会、秋祭り
5月	鯉のぼり見学	11月	紅葉、保育園との交流
6月	ショッピング、バラ園外出	12月	クリスマス会、忘年会
7月	七夕、保育園との交流	1月	初詣、新年会
8月	流しそうめん、納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	観梅、雛祭

<年間目標>

利用人員

通所介護	27人/日 (28年度実績 24.3人/日 H28.12月現在)
総合事業	6人/日 (28年度実績 5.2人/日 H28.12月現在)

目標設定の根拠

- ・定期的に他の事業所より問い合わせ、新規紹介があり、地域の方も友達が来ているからという理由で来られた方が数名おられた。

利用者満足の上

- ① 季節毎の外出行事、踊り等の外部ボランティアの招致の企画を検討し満足度の向上に努めると共に、新規利用者の定着に努める。
- ② 連絡帳を活用し、家族に来所時の様子や健康状態を詳しく伝え、デイサービスの内容を知ってもらい、信頼関係を構築する。

介護支援専門員・地域との連携

- ① 空き情報や利用状況及び利用者の来所時の様子等の情報を発信し、他事業所との情報共有を図り、信頼関係を構築する。
- ② 他の介護支援専門員やかかりつけの病院と連携を図り、医療度の高い方や介護度の高い方の受け入れを行う。
- ③ 学生やこども園、外部ボランティアなど地域との相互交流を図る。

職員の資質向上

- ① 利用者のケース検討を行い、デイサービスで介護技術研修を行う事で職員の介護技術の向上及び介護の質の均一化、振り返りを行う。
- ② 業務内容や利用者の健康状態等の「気づき」を大切にし、発言しやすい環境作りを行う。